

輦車と申は輪をかけて輿のやうに作たる車也、是もさりぬべき宿老大臣、又女御更衣などのゆるされて、大内の内を乗て通給ふもの也、

〔輿車圖考〕輦はてぐるまとよむ、宮城門よりのものなり、中また腰車ともいふは、轆を腰の

ほどにあて、手をもちそへて引く故に、かくもいへるなるべし、中その用度延喜式に見えた

り、中また小車ともいふ、中皇太子の晴の儀は輦車なり、中親王大臣の輦に乗るは、特恩に

て許さる、事なり、されど男は宮城門より宮門までの間をのる事にて、禁内はのらず、中され

どなかのへのてぐるまをゆりたる人も、まれ／＼ある事なり、中女は人がらによりて、乗るべ

き所に違あり、その制式に見えたり、されど猶その時々中に宣下ありとぞ、中上にみえたる人が

らの外にも、別宣旨にてゆるさる、ことあることなり、中僧綱にもあり、宮城門の外にて輦車

にのる事は、すてなき事なるを、たゞ春日の齋女社頭にての事と見ゆ、中これは齋王ならば、

輿に乗り給ふべき所なるを、おもき事なれば、輦にかたへたるにて別儀なり、又大臣大饗に、尊者

の乗られし事みゆるは、いぶかしきことなり、

〔儀式〕春日祭儀

齋女駕輦參社

〔續日本後紀八〕承和六年六月己卯、女御從四位下藤原朝臣澤子卒、故紀伊守總繼之女也、天皇納

之、誕三皇子一皇女也、中寵愛之隆、獨冠後宮、俄病而困篤、載之小車、出自禁中、纔到里亭、便絕矣、天

皇聞之哀悼、遣弔使贈從三位也、

〔續日本後紀十二〕承和九年八月甲戌、遣參議正躬王、送廢太子親王、於淳和院、備前守從四位上紀

朝臣長江、自院逢迎、其儀駕小車、出禁中、到神泉苑、良角駕牛車、

〔文德實錄〕嘉祥三年三月己亥、仁明皇帝崩於清涼殿、于時皇太子中下殿御、宜陽殿東庭倚廬、中